

フルーツパークで見ごろ

白色の愛らしいリンゴの花が、はままつフルーツパーク時之栖（浜松市浜名区都田町）で見ごろとなっている。

同園では8種600本のリンゴの木が植えられ、1週間ほど前に開花。2杯ほどに高さがそろえられた木には一斉

に花が咲いた。つぼみはピンク色だが、開花が進むと白くなっていくのが特徴だ。

家族で来園した愛知県西尾市の会社員野沢嘉光さん(42)は「園内の自転車で子どもたちと楽しんだ後、かわいい花を見て爽やかな気分になりました」と話していた。（山田英二）



モデル校への指定書を受け取った熊小の児童＝浜松市天竜区で

「交通事故ゼロ目指す」 安全教育推進モデル校

天竜区・熊小などに指定書

浜松市熊小（天竜区）に22日、市の本年度の「交通安全教育推進モデル小学校」としての指定書が渡された。

授与式では、代表の児童が栗田和彦・天竜署長から指定書を受け取り、交通事

故ゼロを目指す決意表明をした。市教委の担当者は「事故から自分の命を守る力を身に付け、おうちの人や地域の人に広げてほしい」と呼びかけた。

6年の酒井彩里さんは「横断歩道ではよく見える

山正弥さん。和田さんと影山さんは昨年5月、今年3月、松浦さんは昨年5月、10月、赤堀さんは昨年11月

幼児・児童向けスポーツクラブを運営

しまざわ 島沢 翔哉さん 30

「可能性ある」伝え

中学生のサッカーチーム代表などを務める傍ら、野球や体操など複数の種目に取り組みむ幼児・児童向けスポーツクラブ「ピーマ・スポーツ」の浜松市内4校を運営する。自身は小学生のころからサッカー一筋だったからこそ、幼少期にさまざまな競技を経験し



てほしいと思っている。

18歳から子どもたちのサッカー指導に携わり、海外チームとの試合も経験した。言葉が通じなくても試合を楽しむ選手たちの姿を見て、外国人との意思疎通の手段にもなるスポーツに「可能性がたくさんある」と実感。その魅力を広めようと2020年、全国各地に展開するピーマ・スポーツの教室運営に加わった。

浜松と縁が深いインドで絶大な人気を誇るクリケットの振興にも力を入れ、子どもを対象にした体験会に携わる。

「浜松の子どもたちは今後、インド人の友達が増える。その時に文化を知っておけば距離は近づく」とほほ笑む。中央区三方原町。（成田はな）

ように手を上げて渡っている。みんなのお手本として交通ルールを守り、下級生を助けた」と意気込む。モデル校には他に佐藤、富塚、豊岡、芳川北、西都台、双葉、新原、井伊谷の各小学校が指定された。（野瀬井寛）



災害対策本部に集まった幹部職員ら＝浜松市役所で

着した職員の割合は42・0%、1時間半以内は71・9%だった。市役所には災害対策本部を設置。本部長を務める中野拓介市長は「災害時は初動が重要で、遅れると市民の犠牲を増やしかねない。いざというときに指示を待つのではなく、速やかに対応できるように心得てほしい」

1日店主、 楽しみ古

浜松古本市が市中央区田町のであった。県内さまざまな業種の「が店を出し、音絵本といったものが伝わる本が並前から掘り出し来場者が集まり、県内や岐阜県ど、個人のほか、友人でつづった30店が参加する客と会話を焼き菓子やドリンクもあり、都府を中心に活グルーブの演奏、自営業者で、不定期で開催書店を営む高林（57）＝浜名区中主とお客の一期める。本を見れば垣間見えるた。